



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 三櫻工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6584 URL http://www.sanoh.com/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹田 玄哉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 長谷川 貴之 TEL 03-5793-8411
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満四捨五入

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	102,602	4.1	3,602	△23.8	3,834	△7.6	2,156	28.1
29年3月期第3四半期	98,602	△0.2	4,726	2.1	4,148	21.1	1,683	14.1

（注）包括利益 30年3月期第3四半期 5,736百万円（－％） 29年3月期第3四半期 △1,403百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	59.23	—
29年3月期第3四半期	46.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	112,272	40,175	33.1	1,022.05
29年3月期	104,219	35,581	31.9	914.71

（参考）自己資本 30年3月期第3四半期 37,198百万円 29年3月期 33,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
30年3月期	—	12.50	—		
30年3月期（予想）				12.50	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	3.1	5,700	△5.1	5,600	3.9	2,000	86.3	54.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	37,112,000株	29年3月期	37,112,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	716,487株	29年3月期	716,377株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	36,395,549株	29年3月期3Q	36,395,696株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は天候不順や物価上昇による実質所得の伸び悩みを受けて夏場以降持ち直しの動きが一服するも、世界的な製造業サイクルの好転を受けた輸出の回復や国内需要の持ち直しから着実な回復基調が続きました。

海外において、米国では、個人消費や設備投資が鈍化したものの、在庫投資や外需が成長率を押し上げたことにより景気は緩やかな拡大が持続しました。欧州は雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が堅調に推移し、企業業績の好調、緩やかな金融環境を追い風に設備投資も回復し、景気の拡大が持続しました。アジアでは、個人消費を中心に内需が底堅さを維持し、総じて緩やかな景気回復が続いております。一方中国は、2017年7月－9月期の実質GDP成長率は前年同期比6.8%と4月－6月期の同6.9%をやや下回り、景気は緩やかに減速しています。

このような環境のなか、当第3四半期連結累計期間の業績は、欧州の業績回復及びアジアの業績改善を北南米・日本の減益が上回った結果、売上高は1,026億2百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は36億2百万円（前年同期比23.8%減）と増収、減益となりました。また前期と比べ為替レートが安定して推移したことにより為替差損は減少するも、営業利益の減少が響き、経常利益は38億34百万円（前年同期比7.6%減）と減益となりました。一方、減損損失等の非経常的な損失が減少したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億56百万円（前年同期比28.1%増）と増益となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

売上高260億39百万円（前年同期比0.5%減）とほぼ前年同期並みとなりましたが、営業利益は主に緊急輸送費や品質関連費用及び材料価格の上昇等のコストの増加により、1億77百万円（前年同期比87.1%減）と減益となりました。

② 北南米

ブラジル子会社の生産・販売台数の増加が寄与し、売上高は339億48百万円（前年同期比1.5%増）となりました。一方営業利益は米国及びメキシコ子会社において材料価格の上昇等により材料費が増加したことに加え、米国子会社における人件費等の固定費も増加したことにより19億44百万円（前年同期比34.4%減）と減益となりました。

③ 欧州

ドイツ子会社における売上の増加により、売上高は174億51百万円（前年同期比3.9%増）となりました。またドイツ子会社における外注加工費等の変動費の減少に加えロシア子会社の復調及びイギリス子会社が引き続き好調に推移したことも寄与し、営業損失は3億37百万円（前年は10億23百万円の営業損失）となりましたが、赤字幅は大幅に縮小いたしました。

④ 中国

客先生産台数の増加により、売上高は99億67百万円（前年同期比13.1%増）と増収となりましたが、生産高増加に伴う人件費の増加及び工程効率化のためのコストが先行して発生したことが影響し、営業利益は3億46百万円（前年同期比19.9%減）と減益となりました。

⑤ アジア

各日系メーカーの生産量増大によりタイ及びインドの子会社の売上増が寄与し、売上高は151億97百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益は16億6百万円（前年同期比47.6%増）と増収、増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は1,122億72百万円となり、前連結会計年度末に比べて80億53百万円増加しました。主な要因は現金及び預金の増加7億34百万円、たな卸資産の増加11億39百万円、有形固定資産の増加35億65百万円及び投資有価証券の増加16億34百万円等であります。

負債合計は720億97百万円となり、前連結会計年度末に比べて34億59百万円増加しました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加8億71百万円、短期借入金の増加18億65百万円及び長期借入金の増加10億37百万円等であります。

純資産は401億75百万円となり、前連結会計年度末に比べて45億94百万円増加しました。主な要因は為替換算調整勘定の増加11億91百万円、退職給付に係る調整累計額の増加5億81百万円、その他有価証券評価差額金の増加11億33百万円及び利益剰余金の増加12億64百万円等であります。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により58億34百万円増加、投資活動により73億60百万円減少、財務活動により18億94百万円増加等の結果、当第3四半期連結会計期間末には126億58百万円（前連結会計年度末比7億34百万円増加）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が37億2百万円（前年同期は36億14百万円）、減価償却費が42億56百万円（前年同期は38億60百万円）、売上債権の減少による資金増が97百万円（前年同期は16億50百万円の資金減）、たな卸資産の増加による資金減が3億79百万円（前年同期は15億92百万円の資金減）、仕入債務の増加による資金増が9億13百万円（前年同期は22億59百万円の資金増）、未払金の減少による資金減が6億40百万円（前年同期は1億94百万円の資金増）、法人税等の支払による資金減が16億62百万円（前年同期は15億59百万円の資金減）あったことなどにより、前年同期と比較して、27億74百万円減少して、58億34百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、自動車部品事業を中心とした有形固定資産の取得による支出74億68百万円（前年同期は67億99百万円の支出）等により、前年同期と比較して4億85百万円増加して73億60百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られたキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加による収入23億94百万円（前年同期は6億21百万円の収入）、配当金の支払による支出8億92百万円（前年同期は8億73百万円の支出）等により、18億94百万円となりました（前年同期は13億1百万円の支出）。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について、平成29年5月12日の「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想数値に変更ございません。

なお、平成29年8月7日に公表しました「当社グループ製品搭載車種の市場回収処置（リコール）について」に関する当社グループが負担する補修費用の最終的な負担額は現時点において確定しておりません。今後、算定が可能な状態となり次第、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,924	12,658
受取手形及び売掛金	18,967	19,271
電子記録債権	594	645
製品	3,899	3,577
仕掛品	5,936	7,376
原材料及び貯蔵品	10,538	10,559
繰延税金資産	919	846
その他	2,247	3,600
貸倒引当金	△136	△141
流動資産合計	54,889	58,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,243	17,843
機械装置及び運搬具	60,351	63,646
工具、器具及び備品	10,828	11,486
土地	3,983	4,320
リース資産	769	1,092
建設仮勘定	4,138	4,966
減価償却累計額	△60,249	△63,728
減損損失累計額	△3,377	△3,373
有形固定資産合計	32,686	36,252
無形固定資産		
のれん	509	504
リース資産	28	20
その他	705	636
無形固定資産合計	1,242	1,160
投資その他の資産		
投資有価証券	9,293	10,928
長期貸付金	7	3
繰延税金資産	5,504	4,943
その他	597	596
投資その他の資産合計	15,402	16,470
固定資産合計	49,330	53,882
資産合計	104,219	112,272

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,168	11,038
電子記録債務	4,134	4,498
短期借入金	12,543	14,408
未払金	2,168	1,630
リース債務	116	165
未払法人税等	1,060	306
未払消費税等	353	491
賞与引当金	1,081	963
役員賞与引当金	23	7
製品保証引当金	818	593
その他	3,720	4,942
流動負債合計	36,185	39,042
固定負債		
長期借入金	10,395	11,432
リース債務	214	411
繰延税金負債	114	105
役員退職慰労引当金	174	174
退職給付に係る負債	21,043	20,826
その他	514	107
固定負債合計	32,453	33,056
負債合計	68,638	72,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,628	2,365
利益剰余金	31,032	32,296
自己株式	△477	△477
株主資本合計	36,663	37,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,995	5,128
為替換算調整勘定	△3,044	△1,853
退職給付に係る調整累計額	△4,323	△3,742
その他の包括利益累計額合計	△3,372	△467
非支配株主持分	2,290	2,977
純資産合計	35,581	40,175
負債純資産合計	104,219	112,272

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	98,602	102,602
売上原価	83,395	87,968
売上総利益	15,207	14,634
販売費及び一般管理費	10,481	11,033
営業利益	4,726	3,602
営業外収益		
受取利息	34	51
受取配当金	164	186
為替差益	-	162
その他	80	184
営業外収益合計	278	583
営業外費用		
支払利息	273	278
為替差損	329	-
その他	254	72
営業外費用合計	856	350
経常利益	4,148	3,834
特別利益		
固定資産売却益	15	15
特別利益合計	15	15
特別損失		
固定資産売却損	15	11
固定資産除却損	46	101
減損損失	488	36
特別損失合計	549	148
税金等調整前四半期純利益	3,614	3,702
法人税、住民税及び事業税	2,014	877
法人税等調整額	△436	122
法人税等合計	1,578	999
四半期純利益	2,035	2,702
非支配株主に帰属する四半期純利益	352	547
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,683	2,156

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	2,035	2,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,085	1,133
為替換算調整勘定	△6,253	1,320
退職給付に係る調整額	1,730	581
その他の包括利益合計	△3,438	3,034
四半期包括利益	△1,403	5,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,430	5,061
非支配株主に係る四半期包括利益	27	675

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,614	3,702
のれん償却額	50	45
減損損失	488	36
減価償却費	3,860	4,256
有形固定資産除却損	46	101
有形固定資産売却損益(△は益)	0	△4
受取利息及び受取配当金	△198	△237
支払利息	273	278
売上債権の増減額(△は増加)	△1,650	97
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,592	△379
仕入債務の増減額(△は減少)	2,259	913
賞与引当金の増減額(△は減少)	△101	△156
未払金の増減額(△は減少)	194	△640
未払費用の増減額(△は減少)	750	387
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	232	386
その他	2,066	△1,238
小計	10,290	7,546
利息及び配当金の受取額	192	237
利息の支払額	△316	△287
法人税等の支払額	△1,559	△1,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,608	5,834
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,799	△7,468
有形固定資産の売却による収入	277	98
投資有価証券の取得による支出	△129	△22
その他	△224	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,875	△7,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	621	2,394
長期借入れによる収入	1,000	2,381
長期借入金の返済による支出	△1,971	△1,739
配当金の支払額	△873	△892
非支配株主への配当金の支払額	△78	△168
連結範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による出資	—	△82
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,301	1,894
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,269	366
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△838	734
現金及び現金同等物の期首残高	13,015	11,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,178	12,658

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	26,157	33,447	16,793	8,810	13,395	98,602	—	98,602
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12,987	204	108	1,691	372	15,362	△15,362	—
計	39,144	33,652	16,901	10,501	13,767	113,964	△15,362	98,602
セグメント利益 又は損失(△)	1,370	2,961	△1,023	432	1,088	4,828	△102	4,726

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△15,362百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△102百万円には、のれんの償却額△50百万円、顧客関連資産の償却額△74百万円およびたな卸資産等の調整額22百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて487百万円、「中国」セグメントにおいて2百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	26,039	33,948	17,451	9,967	15,197	102,602	-	102,602
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,672	444	157	1,354	492	16,119	△16,119	-
計	39,710	34,392	17,608	11,322	15,689	118,721	△16,119	102,602
セグメント利益 又は損失(△)	177	1,944	△337	346	1,606	3,734	△133	3,602

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△16,119百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△133百万円には、のれんの償却額△45百万円、顧客関連資産の償却額△76百万円技術関連資産の償却額△8百万、貸倒引当金繰入の取消額29百万円、たな卸資産等の調整額△118百万円及び固定資産に係る調整額86百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「欧州」セグメントにおいて36百万円の減損損失を計上しております。